



新鶴見小

江ヶ崎町2番1号 ☎583-8915

保護者、ボランティアの皆様へ感謝

校長 佐藤 朗子

5月は爽やかなお天気の日が多いイメージですが、今年は冷たい雨の日があったり、真夏のような暑さの日があったりして、体調を整えることが大変だったと思います。そのような中でしたが、子どもたちは、体カテスト、体験学習、校外学習などに一生懸命に取り組んでいました。

5年生は14、15日で高尾宿泊体験学習に行ってきました。1日目午後からは雨が降ってしまいましたが、子どもたちにとっては、高尾の森わくわくピレッジで友達と過ごすことが、何より楽しかったようです。キャンプファイヤーはキャンドルファイヤーに変更になりましたが、ゲームやダンス、各クラスのスタンツで、体育館はみんなの歓声に包まれました。これから6年生は7月に日光修学旅行、4年生は9月に上郷宿泊体験学習が予定されています。子どもたちが安全に、そして楽しく過ごせるように、しっかりと準備してまいります。

今年度も、体カテスト、まちたんけん、多くのボランティアの皆様にご協力いただきました。ボランティアの皆様が見守ってくださるおかげで、子どもたちは学習活動の場を広げることができています。教員にとっても、大変心強いです。

昨年度から、学習支援に関わってくださる方には、しんつるサポーターズを通して事前にボランティア登録をさせていただいています。現在、約100名の皆様登録してくださっています。保護者の皆様にとっては、学校での子どもたちの様子を見ることができる、よい機会にもなると思います。随時受け付けておりますので、ぜひご登録ください。

【登録はこちらから】⇒



登校時の見守りについても、保護者の皆様のお力が大きいです。1,000人近い子どもたちが整然と並んで時間を守って登校できているのは、保護者の皆様のご協力があるからです。危険個所の旗当番、長期休み後の見送り当番など、いつもありがとうございます。登校班で登校するよさとしては、近くに住む友達を知って他学年とも交流できること、低学年は安心して登校することができ、高学年はリーダーとしての気持ちが育つことが挙げられます。また、交通ルールを守り、道路を広がらずに歩き、時間を意識して登校することもできます。一方で、登校班の集合時刻に、マンションによってはエントランスが子どもたちでいっぱいになってしまったり、1分ずつ時間差をつけて出発しても、歩道が大渋滞してしまったりしている現状があります。そのため、安全に登校できるよう、毎日通学路の途中まで子どもたちに付き添う、送り当番をしてくださっている班もあり、それが保護者の負担となっていることも分かりました。（見送り当番については、PTAの令和2年度末のアンケートにより、始業式からゴールデンウィーク明け1週間程度、夏休み・冬休み明けの1週間程度となっています。）もし個人登校の期間を設定した場合、「広がらずに安全な歩行や横断はできるだろうか。見守りは十分だろうか。車や自転車で送ってもらう子は増えないだろうか。」など、心配なこともたくさんあります。学校としては、安全に登校するには登校班での集団登校の方がよいと考えますが、今後、保護者・PTA、地域の皆様のご意見も生かしながら、よりよい方法を検討していこうと思っております。

関東地方もそろそろ梅雨入りしそうです。土曜参観日の5校時には、暴風警報発令を想定した引き取り訓練を行います。この機会に、登下校の際に気を付けることについて、ご家庭で話題にいただけると幸いです。